



INNOVATOR'S
GARAGE

「アカデミックナイト」キックオフ講演会

主催：一般社団法人中部圏イノベーション推進機構

ナゴヤイノベーターズガレッジ会員向けプログラムである「アカデミックナイト」立ち上げに際し、講演会を開催します。キックオフとして、どなたでも参加できます。ぜひ、ご参加ください。

第1部【講演1】

「名古屋発イノベーションの起爆剤にー ナゴヤイノベーターズガレッジへの期待と大学の役割」

講師：名古屋大学
総長 松尾 清一 氏



第2部【講演2】

「スーパー分子をつくる：無限の可能性と異分野融合のチカラ」

エネルギー、食糧、環境、医療など、この地球上には実に多くの「問題」があるが、その多くに対して「分子で答えを出す」ことができる。異分野融合を通じたスーパー分子の創製研究と無限の可能性について講演する。

講師：名古屋大学
トランスフォーマティブ生命分子研究所
拠点長 伊丹 健一郎 氏



第3部【交流会】

日時/ **2019年9月26日(木)**

18時00分～20時30分 (受付開始 **17時30分**)

会場/ **ナゴヤ イノベーターズ ガレッジ** 【定員100名】

参加費/一般・会員とも **無料**

お問い合わせ先



INNOVATOR'S
GARAGE

一般社団法人中部圏イノベーション推進機構

<https://garage-nagoya.or.jp>

〒460-0008

名古屋市中区栄 3-18-1 ナディアパーク4F ナゴヤ イノベーターズ ガレッジ

詳細・申込みは
こちらから！



講師略歴

・第1部【講演1】

講師 **松尾 清一 氏**
名古屋大学 総長

学歴

1976(昭51)年3月 名古屋大学医学部医学科卒業、1976(昭51)年4月 名古屋掖済会病院で卒後臨床研修、1977(昭52)年4月 名古屋大学大学院医学研究科博士課程入学、1981(昭56)年3月同 単位取得、1981(昭56)年7月同 修了、1981(昭56)年7月 医学博士 (名古屋大学)

職歴

1981(昭56)年4月 名古屋大学医学部附属病院研究・診療従事、1981(昭56)年9月 ニューヨーク市立大学医学部「ウツリイテ」カテゴリー研究員、1982(昭57)年8月 ニューヨーク州立大学バッファロー校研究員、1984(昭59)年10月 労働福祉事業団中部労災病院内科医長、1985(昭60)年1月 労働福祉事業団中部労災病院内科副部長、人工腎室長、1986(昭61)年5月 名古屋大学医学部助手、1986(昭61)年7月 名古屋大学医学部附属病院助手、1997(平9)年2月 名古屋大学医学部附属病院講師、2002(平14)年1月 名古屋大学大学院医学研究科教授、2002(平14)年4月 名古屋大学大学院医学系研究科教授、2004(平16)年4月 名古屋大学医学部附属病院副病院長 (兼務、平成19年3月まで)、2007(平19)年4月 名古屋大学医学部附属病院長 (兼務、平成25年3月まで)、2009(平21)年4月 名古屋大学副総長 (兼務、平成27年3月まで)、2010(平22)年4月 名古屋大学予防早期医療創成センター長 (兼務、平成26年9月まで)、2012(平24)年4月 名古屋大学産学官連携推進本部長 (兼務、平成25年12月まで)、2014(平26)年1月 名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部長 (兼務、平成27年3月まで)、2015(平27)年4月 名古屋大学総長 (任期：令和3年3月まで)、2015(平27)年6月 国立大学協会副会長 (任期：令和元年6月まで)、2017(平29)年9月 人生100年時代構想会議議員 (任期：平成30年9月まで)、2018(平30)年3月 総合科学技術・イノベーション会議議員 (非常勤)、(任期：令和3年2月まで)

・第2部【講演2】

講師 **伊丹 健一郎 氏**
名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所 拠点長

1998年京都大学大学院工学研究科博士号取得。京都大学大学院助手(1998年)、名古屋大学准教授(2005年)、同大学院教授(2008年)を経て、2012年より世界トップレベル研究拠点(WPI)である名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所(ITbM)の拠点長。2013年よりJST-ERATO伊丹分子ナノカーボンプロジェクト研究総括。アメリカ化学会賞、英国王立化学会フェロー、オランダ超分子科学賞、Highly Cited Researchers、中日文化賞など極めて多くの国際賞を受賞

「アカデミックナイト」企画説明

アカデミックナイトでは、中部圏の大学から次代を創る大学教員が、隔週(毎月第2木曜日と第4木曜日の夜)で、登壇します。

このプログラムでは、最先端の研究を知ることによりイノベーションにつながるヒントを獲得できます。また、「大学教員」と「研究の出口となるパートナー(大・中堅企業等)」のマッチングにより、大学の技術シーズを起点とした、新事業創造や既存事業の革新を促すとともに、研究資金の源泉につなげるなど、大学および大学が行う研究内容と産業界の橋渡しを担います。